

13029 児童文化Ⅱ a、b Juvenile Culture II		1 年次～ 前期 2 単位	
担当者	豊田 郁央	履修可能学科	E Pe Pc C W F
		関連資格	社教(E・Pe・Pc・C)
サブタイトル	演劇的技法を取り入れた表現教育の可能性		
授業内容 ・ ねらい	<p>今日、子どものコミュニケーション不全が危機的に語られる中で、求められているのはまず教師自身のコミュニケーション能力や表現力である。教師が子供たちに踏み込めないでいると教育現場の状況はどんどん悪化する。にもかかわらず、そうした能力の育成は個別の研修に任されているのが現状である。この授業では、コミュニケーション能力・表現力を高め人間関係を円滑にする演劇的アプローチ・演劇的技法を実際に経験し、人間的交流がもたらす手応えを感じることを目標とする。具体的には、演劇的表現活動の2側面であるドラマ（演技・演劇）を通しての表現活動と劇作りを扱い、実際上演活動を行う。通常の講義とは異なり、参加者主体のワークショップ（参加体験型グループ学習）を行い、楽しみつつ、お互いに学びあう場をいかに作っていかを課題とする。</p>		
授業計画	第1回：ワークショップについて／自己紹介の技法 第2回：コミュニケーションゲームの実際（1） 第3回：コミュニケーションゲームの実際（2） 第4回：マクベスを読む／呼吸について 第5回：声を出す 第6回：身体を知る 第7回：インプロゲームから劇作りへ 第8回：劇作りの実際	第9回：シナリオを書いてみる 第10回：シナリオを書いてみる（2） 第11回：上演準備（1） 第12回：上演準備（2） 第13回：上演 第14回：表現教育について 第15回：総まとめ～レポート提出～	
教科書 参考書	参）R・チェンバース著『参加型ワークショップ入門』（明石書店）		
評価方法	出席，授業態度，ジャーナル提出，発表，最終レポート		
事前準備学習 履修条件等	音声言語（声ことば）や身体、自分自身のコミュニケーション能力や表現力に興味関心のある人。必ず動ける服装で参加。		